

# 東京消防出初式 1/6(日)



### 冴え渡る消防演技や行進などに拍手喝采

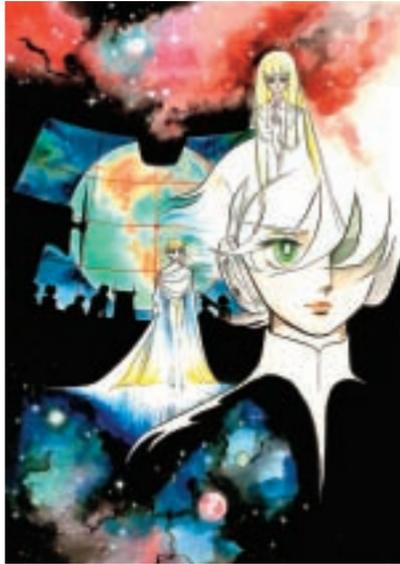
▲ビルからの救出活動演技。ロープを使った隊員の素早い降下訓練

東京ビッグサイトで、新春恒例の東京消防出初式が行われました。猪瀬都知事臨席のもと、職員や消防団員、災害時支援ボランティアなど総勢2,800人が参加しました。

消防関係者、消防車両のパレードに続き、江戸消防記念会によるまといはしごのりが披露されると、大きな拍手と歓声が湧きました。また、消防演技では、消火・救助活動が展開されました。最後は、消防艇による一斉放水とはしご車による演技がフィナーレに華を添えました。

休日の開催となった今回は、会場には多くの方が詰めかけ、消防車両やヘリコプター、船舶などの消火活動・救助活動に歓声をあげていました。

# 森下文化センター まんがが特別展



▲「地球(テラ)へ…」 ©竹宮恵子



▲「おじゃまさんリュリュ」 ©おおやちき

「永遠の少女マンガ展」  
2/11(月・祝)まで 竹宮恵子ほか  
「おおやちきの世界展」  
2/14(木)～3/3(日)

「田河水泡・のらくろ館」を併設する森下文化センターで、特別展を開催します。

原画(ダッシュユ)「永遠の少女マンガ展」

原画(ダッシュユ)とは、コンピュータに漫画原稿を取り込み、色調整を重ねたうえで印刷した精巧な複製原画です。

京都精華大学国際マンガ研究

センターとマンガ家の竹宮恵子さんが共同で研究を進めている原画(ダッシュユ)を中心に展示しています。また、マンガ家の三原順さんの原画も展示しています。

「原画(ダッシュユ) 出展作家」竹宮恵子ほか13人の作家

「原画 遺作」ビリーの森ジョディの樹」ほか多数。

時 2月11日(月・祝) までの午前9時～午後9時※1月21日(月)・2月4日(月) 休館

「おおやちきの世界展」  
伝説の漫画家の原画等を展示

1970年代「りぼん」等で活躍したおおやちきさんの作品を展示します。少女漫画家としての活動期間は短いものの、圧倒的な画力と華麗さで、今でも熱狂的なファンが多い漫画家です。現在は、イラストレーター、パズル作家として活躍中です。これまでの活動の数々を展示します。

時 2月14日(木)～3月3日(日) 午前9時～午後9時※2月18日(月) 休館

※いずれも 場 森下文化センター  
1 展示ロビー(森下3-12-17)  
費 無料  
問 森下文化センター  
☎(5600)8666

# ストライダー世界大会で兄弟が表彰台へ

5歳クラス優勝 古家詩音くん 3歳クラス準優勝 古家凜音くん

10/12～15にアメリカフロリダ州サラソタで世界7か国から約100人のこどもたちが集い、ストライダーカップ世界選手権が行われ、区内在住で、南砂第二保育園に通う古家詩音くんが5歳クラスで優勝、弟の凜音くんが3歳クラスで準優勝に輝きました。



▲コースを疾走する準優勝の凜音くん(ゼッケン312番) ▲日本の大会でも負け知らずの詩音くん(ゼッケン511番)

ストライダーは、2歳から乗れる自転車のような二輪遊具、ペダルや補助輪がないのが特徴で、日本国内だけで15万人が愛用しています。

見事世界チャンピオンとなった詩音くんは「世界チャンピオンになれて良かった。次は、BMX(バイシクルモトクロス)でチャンピオンになる!」また、準優勝の凜音くんは「次こそ優勝できるようにがんばる!」と、それぞれ次なる目標に向かって練習を開始しています。

# 現代ジュニア俳句コンクール 大賞 久保田恭平くん(深川七中2年) 学校賞 深川第七中学校

児童生徒に俳句の楽しさを伝え、「俳句と友だち」をテーマに実施された「現代ジュニア俳句コンクール」で、深川第七中学校の久保田恭平くんが大賞を、深川第七中学校が学校賞を受賞しました。

久保田くんは、小学校の時、野球チームのエースピッチャーとして活躍。暑い夏の大会で優勝し、監督やチームメイトと一緒にかき氷を食べてお祝いしました。その忘れることができない夏の思い出のかき氷が、今回の作品になりました。中学校では俳句部に所属して、俳句を通じて他校とも交流し交友関係を広げ、言葉の大切さも学んでいます。「難しいところは、言葉が思いつかないこと。好きなところは、苦勞して良い作品ができたとき」と語ってくれました。



▲受賞をきっかけに俳句をより好きになった久保田くん

# 試合終え 男同士の かき氷

学校全体での取り組みで、学校賞を受賞

深川第七中学校では、学校生活の中でさまざまな俳句に取り組み、大賞受賞の久保田くんの俳句のほかに、多数の作品が入賞するなどして、学校賞を獲得しました。生徒は全員歳時記と句帳を持ち、毎日の生活の中で思いついた俳句を句帳に書き留めています。毎朝担任の先生は「今日の一句」を紹介したり、学年ごとにまちに出て、公園などで吟行を行い、生徒たち同士でその場の雰囲気を感じながら、俳句を詠み合っています。卒業式でも「送辞」「答辞」に思い出の俳句が組み込まれ、学校全体の取り組みが今回の結果につながりました。

# 入賞作品

- 現代ジュニア俳句コンクールには、深川七中のほか、多数の学校も出展し、賞を受賞しました。その中で優秀賞以上の作品を紹介します。
- 毎日新聞社賞** 柿沢 京香さん(四砂小 5年)  
クレヨンの 赤がたりない バラの花
- 角川学芸出版賞** 齋藤 遥さん(越中島小 6年)  
虫たちは キャベツを食べる 彫刻家
- 角川学芸出版賞** 外崎 美緒さん(深川七中 1年)  
カレンダー 向日葵畑 めくりあげ
- 優秀賞** 畠山 征也くん(深川七中 3年)  
夏の空 スカイツリーと 組体操
- 優秀賞** 藤田茉莉子さん(有明中 2年)  
シャーベット 初めて海を 見た5歳



こうとう区報は発行日から3日かけて郵便ポストへお届けしています。平日および配布日の午前9時～午後7時(3950)3070へ希望される場合は、全戸配布コールセンター(平日および配布日の午前9時～午後7時)☎(3950)3070へ

凡例 時日時 場所 集集 対象 定員 費用 内容 師講師 保一時保育 締締切日 申申込 問問合先 HPホームページ Eメール